
お墓建立費用、全国平均額 170.4 万円、昨年よりも 5.8 万円アップ**一都三県は全国平均よりも 14.65 万円高い 185 万円****全優石の「2016 年版 お墓購入者アンケート調査」結果発表****一都三県の和型はわずか 16.5%、66.2%は洋型**

北海道から沖縄まで、全国の優良石材店約 300 社で構成する墓石業者の全国組織「一般社団法人 全国優良石材店の会」（略称・全優石、会長・吉田剛、事務局・東京都品川区）が実施した「2016 年お墓購入者アンケート調査」の最終結果がこのほどまとまった。この調査は、今年 3 月 1 日～5 月 31 日の 3 か月間に、全優石に加盟する全国の石材店で実際にお墓を購入した人を対象に、郵送法（郵便による自記式調査）で実施した。実際にお墓を購入した人に対する全国規模での調査で、有効回答数は 2,039 名。お墓購入者の実態や意識を知る上で最大規模の調査である。2004 年から毎年春に実施していて、今年で 13 回目、年次推移も把握できる。以下が調査結果の主なポイント。

- 墓地と墓石を「同時新規購入」は全国で 45.6%。お墓を建立した人の 2 人に 1 人は、墓地も新規墓地を購入している。伝統的な和型を建てた人は相対的に既存墓地が多く、洋型、デザインのお墓を建てた人は新規墓地が多い傾向にある。
- 建てたお墓の形を全国でみると、「伝統的な和型」は 2010 年初めて半数を割り 49.5%、2015 年には 39.8%と 4 割を割った。今年はさらに減少し 38.2%である。シンプルな洋型が 42.2%、デザイン墓が 13.3%となった。
- 2004 年からの推移でみると「伝統的な和型」が 66.5%から 28.3%減少し 38.2%に、「シンプルな洋型」が 22.7%から 19.5%増加し 42.2%に、「デザイン墓」が 6.1%から倍増して 13.3%になった。
- 関東、特に一都 3 県では、洋型 66.2%と過半数を占め、和型は 16.5%に減少している。洋型にデザイン墓を合わせると 8 割を占める。
- しかし地域別にみると、近畿、中国、北陸など西日本では、伝統的な和型お墓が 70%以上を占め、伝統的な和型への根強い支持が窺われる。
- 墓地取得費用を除いた墓石の購入金額は、100 万円～200 万円台が最も多く 51.4%と半数余りを占める。次いで、50 万円～100 万円が 20.6%、200 万円～300 万円が 18.0%であった。

- 次に平均購入価格を計算してみると、全国平均で170.4万円となり、昨年の164.6万円よりも5.8万円のアップになった。170万円台の回復は2008年以来8年ぶり。
- 墓石タイプ別では、伝統的な和型の平均単価が最も高く179.24万円、次いでデザインのお墓で176.67万円、シンプルな洋型が最も安く163.10万円であった。
- 地域別にみても、お墓が最も高いのは九州の219.14万円、次いで一都三県で185.05万円、関東の180.48万円、安いのは北海道の141.13万円、北陸の148.14万円であった。最も高い九州と最も安い北海道では78.01万円の開きがある。また一都三県は全国平均よりも14.65万円高い185.05万円であった。
- 墓石選びで重視したことはの複数回答に対して、①石の色、②石の材質と石そのものに対するこだわりが強いことがわかった。
- 「墓石を購入する際に参考にした情報は」の複数回答に対し、圧倒的に多かったのは「石材店のアドバイス」があげられた。次いで「墓地に行って他の墓石を参考にした」。3番目に「石材店のショールーム」があげられ、トップの「石材店のアドバイス」、4番目の「石材店のチラシ」と合わせてみると、石材店の影響力が大きいことがわかる。
- 今年から新たに加わった質問、「子どもの情操教育に対する「お墓参り」の必要性をどう思いますか？」について聞いてみると、「必要性を非常に思う」が68.1%、「ややそう思う」が27.8%と、実に95.9%の人が子供の情操教育に対するお墓参りの必要性、良さを認識していることが分かった。

以上の件に関する取材のお問い合わせは

■一般社団法人 全国優良石材店の会 事務局長 山崎 正子(携帯電話 090-2669-5667)
東京都品川区上大崎 3-8-5 IR ビル 6階 (〒141-0021)
電話 03-5423-4014 FAX 03-5423-4050

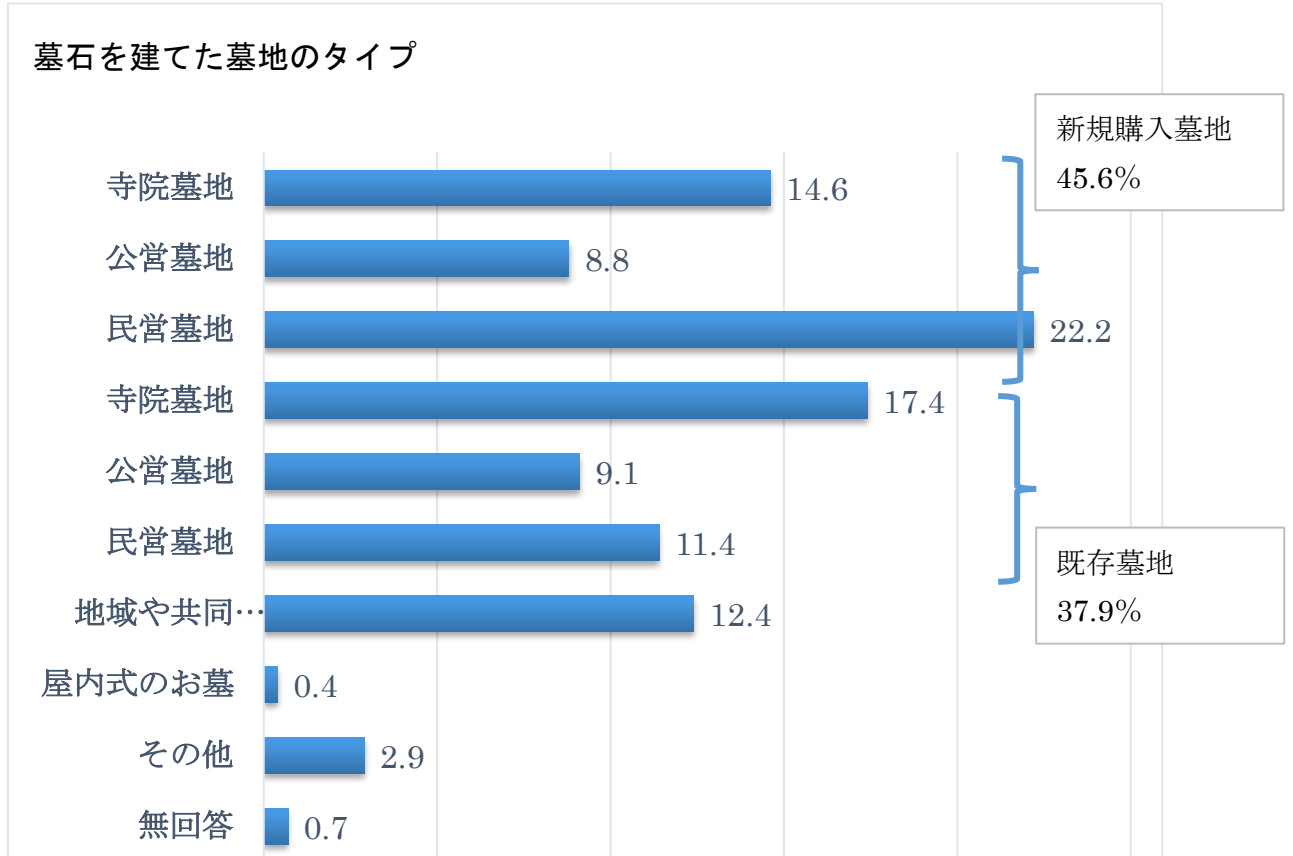
■インフォメーションセンター 佐々木 勉(携帯電話 090-4729-0545)
東京都中央区銀座 1-22-10-401 (〒104-0061) 電話 03-3563-3181 FAX 03-3562-5267

※詳しい調査内容全文は

<http://www.info-ginza.com/zenyuseki/>で閲覧、ダウンロードできます。

「墓地と墓石を同時新規購入」が全国で 45.6%、洋型は新規購入墓地に

まず、最初に墓石を建てた墓地の形態からみると、「新しく購入した墓地」（寺院、公営、民営含み）が 45.6%、「すでにあった墓地」（寺院、公営、民営含み）が 37.9%、「地域や共同体の墓地」12.4%、「屋内式のお墓」0.4%であった。

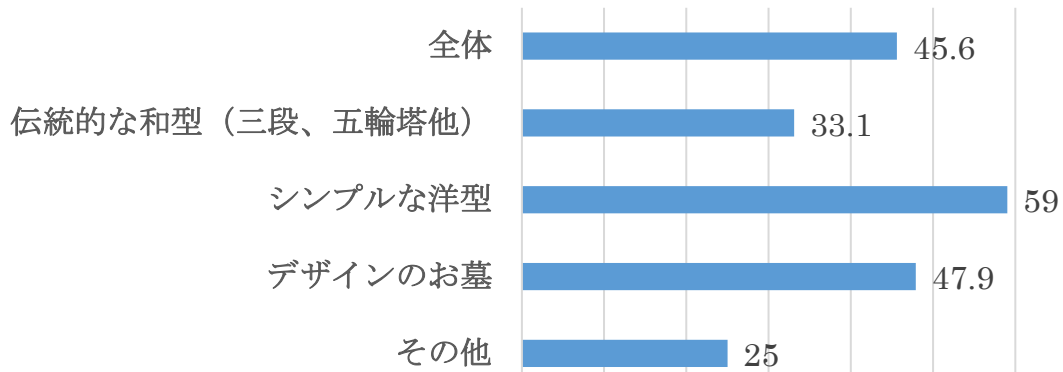


お墓と同時に墓地も新規購入した人は、全体では 45.6%であるが、墓石タイプ別にみると、「シンプルな洋型」を建てた人は墓地も新規という比率が高く 59.0%、ついで「デザインのお墓」で 47.9%、「伝統的な和型」は 33.1%であった。

「伝統的な和型」を建てる人は相対的に代々受け継いだ既存墓地、地域や共同体のお墓が多い傾向にあるようだ。逆に言えば洋型やデザインのお墓は、制約の少ない新しい民営墓地などに建てる傾向にあるといえそうだ。

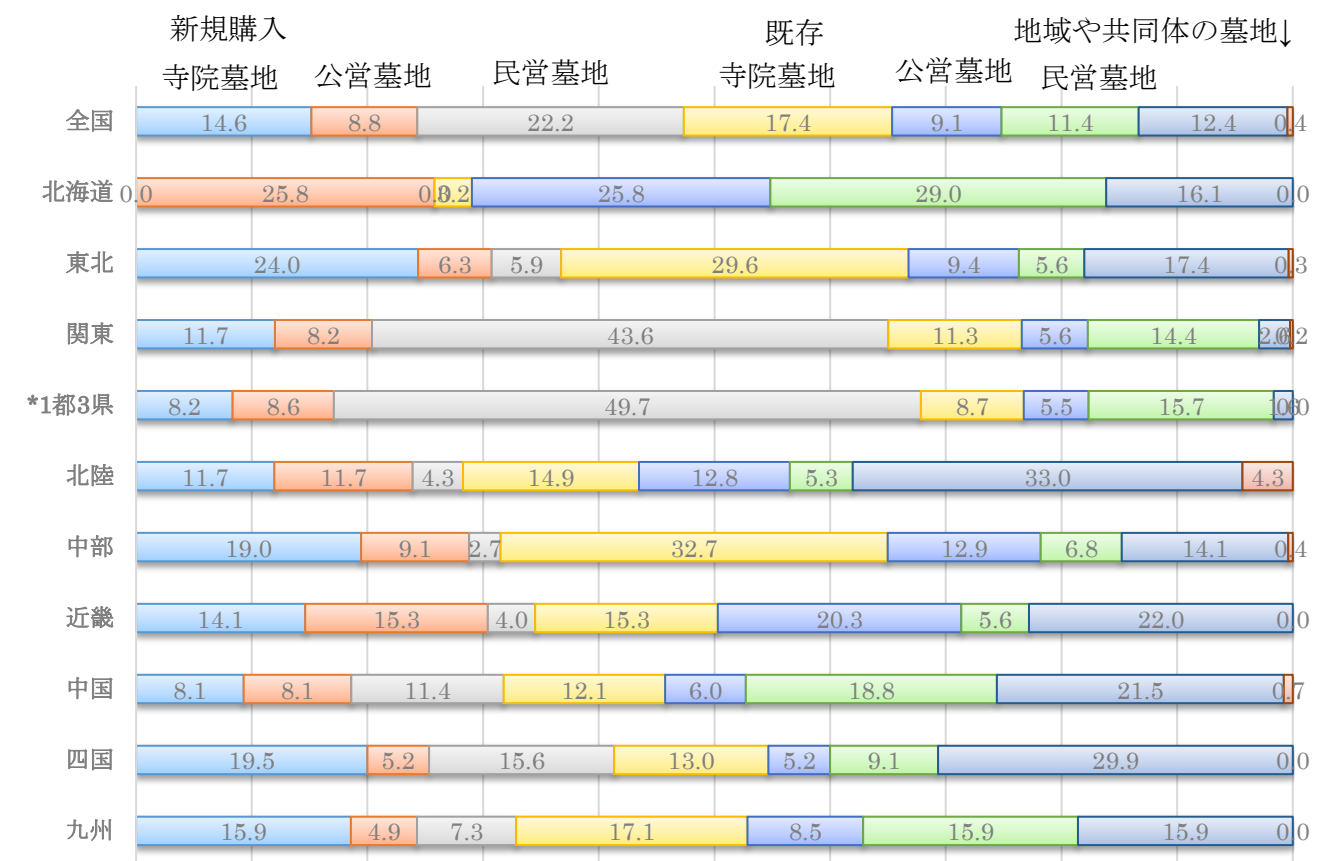
「すでにあった墓地」に建てた人は 37.9%であるが、大半は古くなった墓地の建替えと考えられる。

新規購入墓地に建てたお墓タイプ

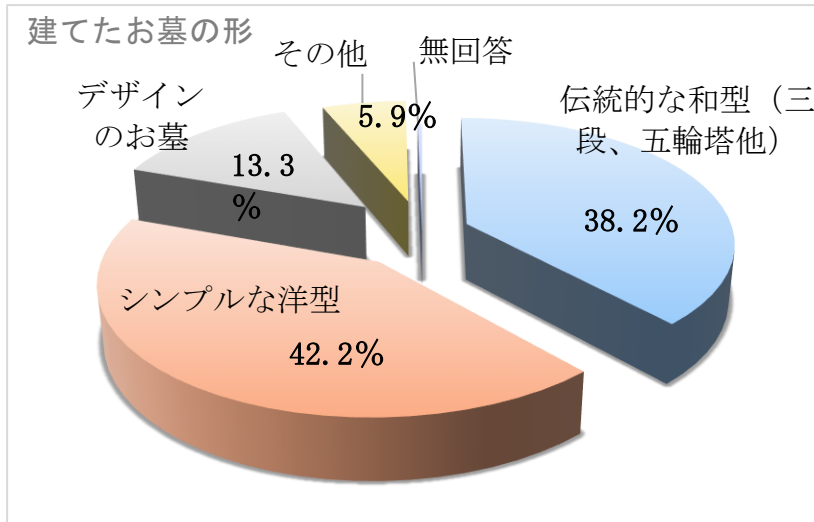


地域別の傾向としては、関東ではお墓を建てた人の新規購入墓地の比率が高く 63.4%、1都3県で 66.5%。その中でも特に「民営墓地」が関東に多く 43.6%、1都3県ではほぼ半数の 49.7%にのぼる。北海道では圧倒的に既存墓地が多く 58.0%を占める。北陸、近畿、中国、四国、九州など西日本でも、既存墓地比率が高く、また地域や共同体の墓地の比率も高い傾向にある。

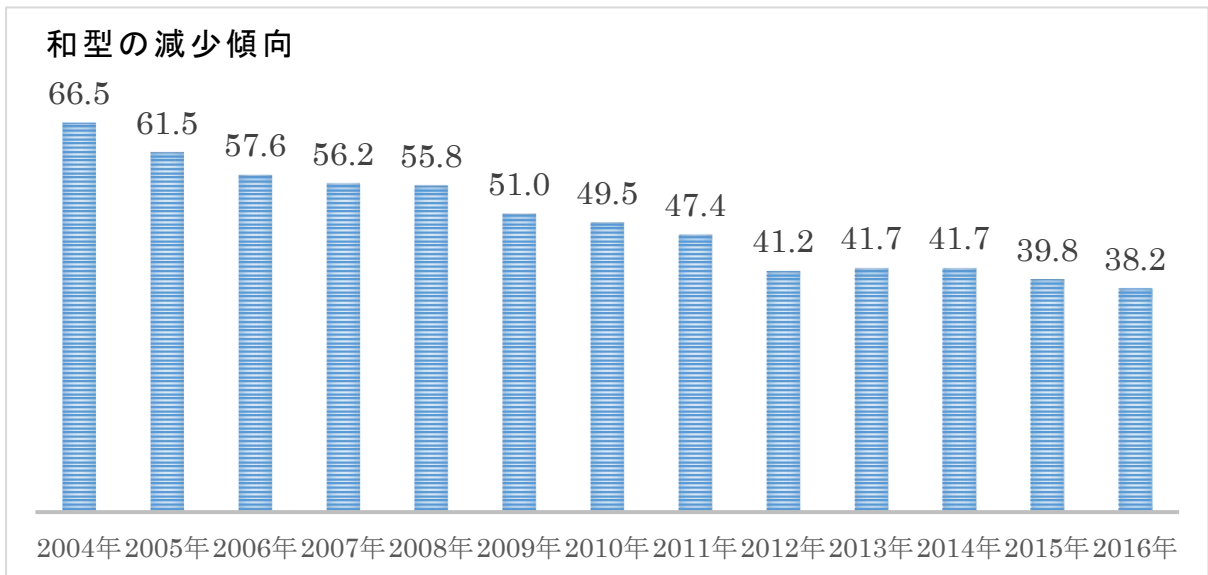
墓石を建てた墓地の形態



伝統的な和型が 38.2%と 4 割を下回る
西日本の和型志向に対し、一都三県、関東では 60%以上が洋型

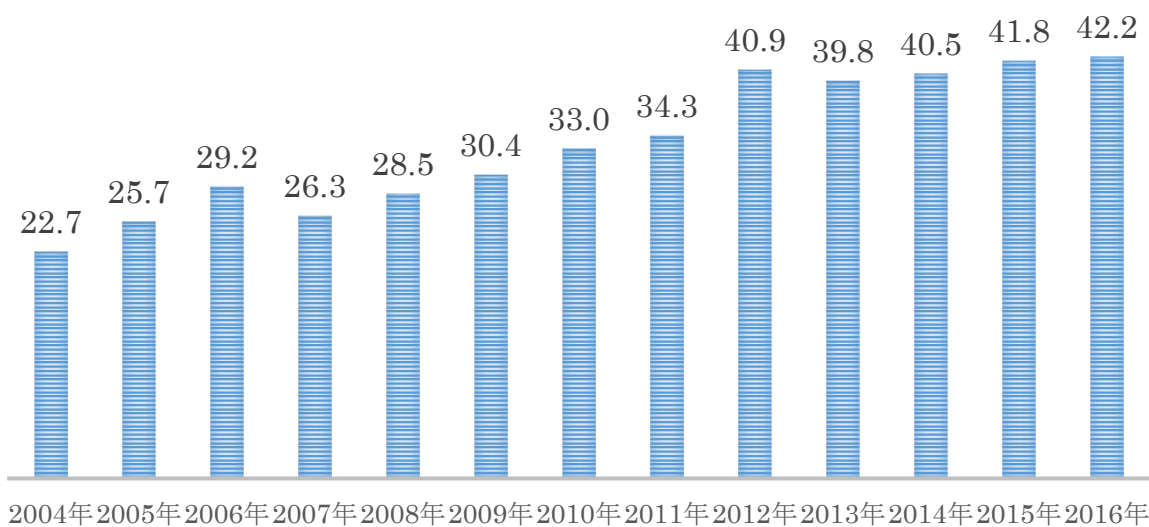


建てたお墓の形を全国でみると、「伝統的な和型」は 2010 年以來半数を割っているが今年は 38.2%となった。「シンプルな洋型」は 42.2、「デザイン墓」は 13.3%という結果であった。

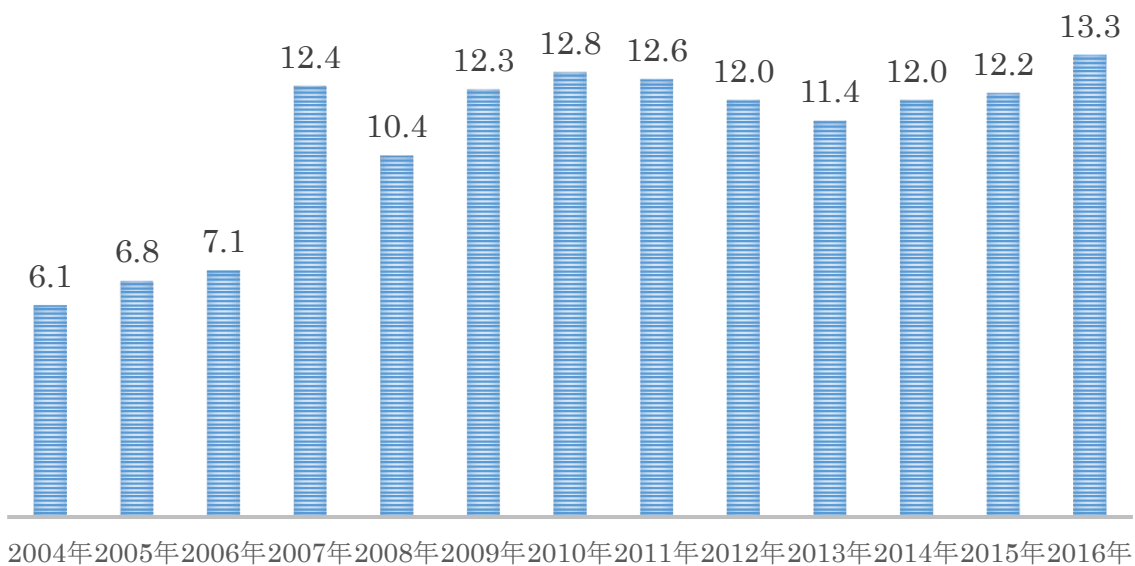


2004 年からの推移でみると「伝統的な和型」が 66.5%から 28.3%減少し 38.2%に、「シンプルな洋型」が 22.7%から 19.5%と約倍増し 42.2%に、「デザイン墓」が 6.1%も倍増して 13.3%になった。

シンプルな洋型の増加傾向



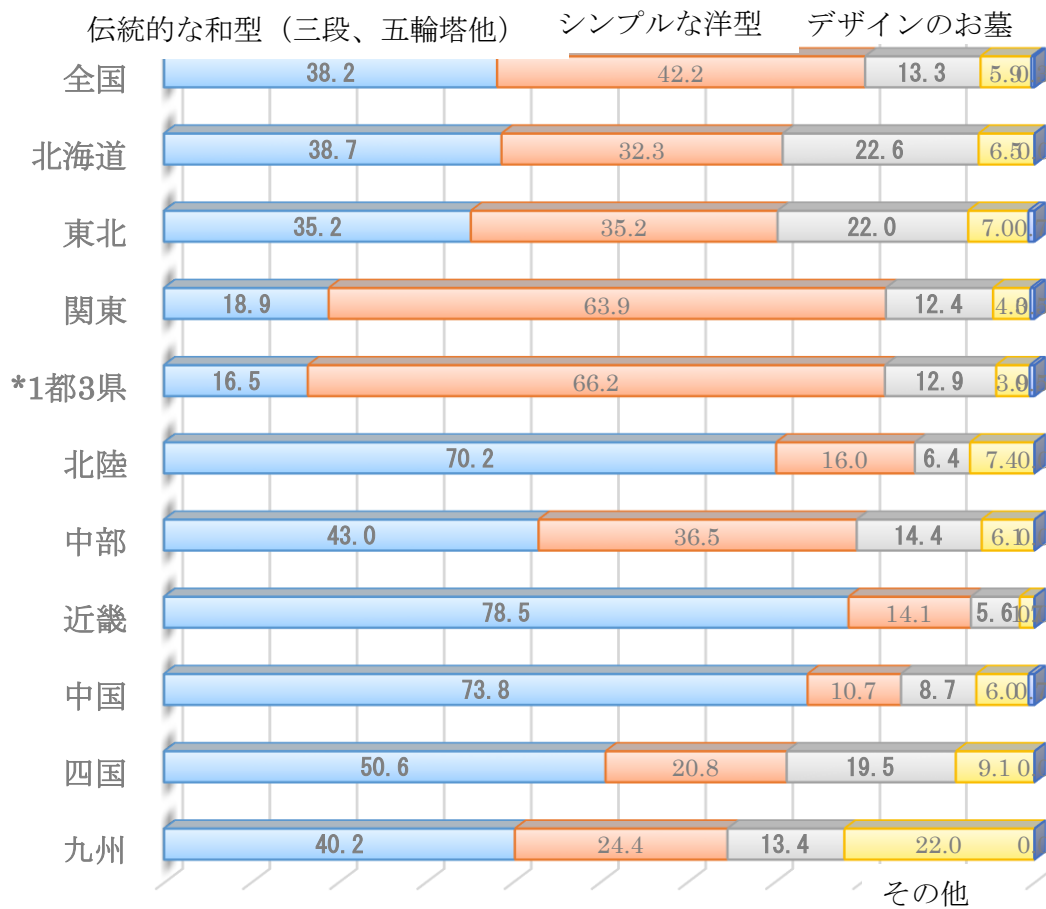
デザイン 墓石の増加傾向



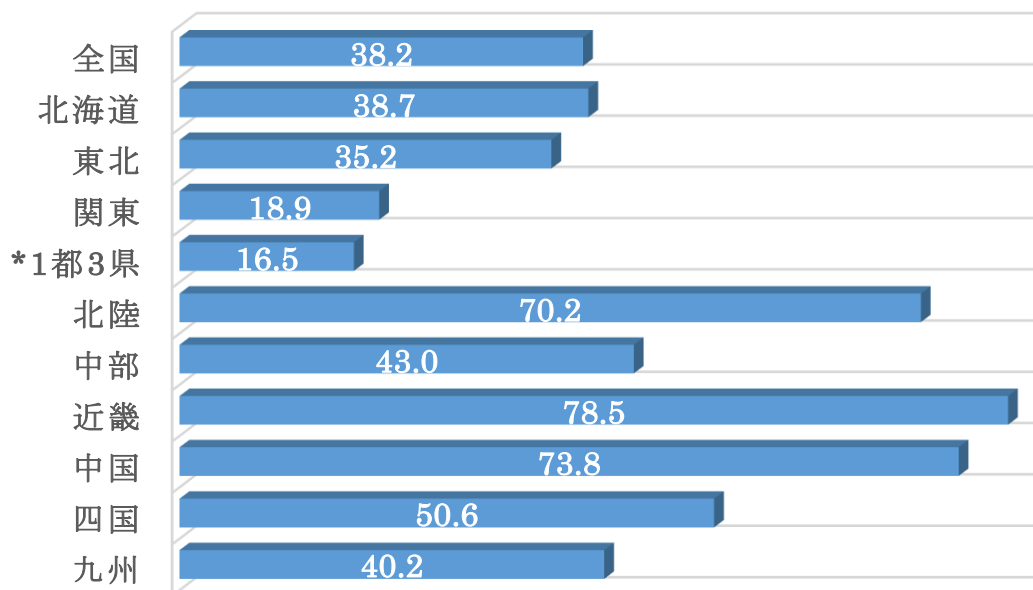
地域別にみても、新規建立お墓に占める伝統的な和型お墓の比率が高いのは、北陸、近畿、中国など西日本で、逆に低いのは一都三県、関東になる。一都三県、関東では、伝統的な和型お墓は2割を割り込んでいる。

また、デザインのお墓では北海道、東北、四国が他の地域に比べて建立比率が高くなっている。

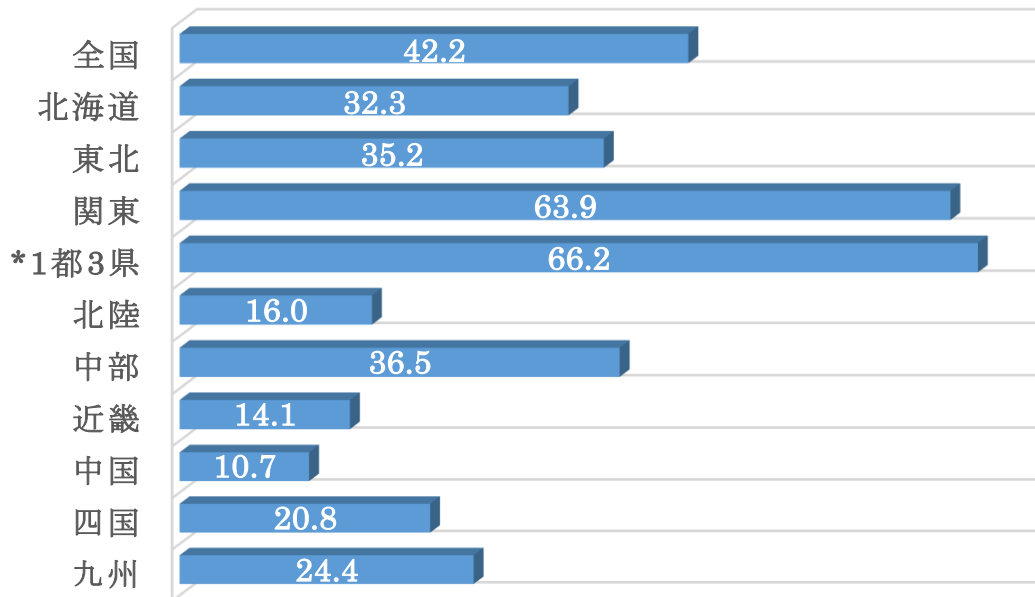
建てたお墓の地域比較



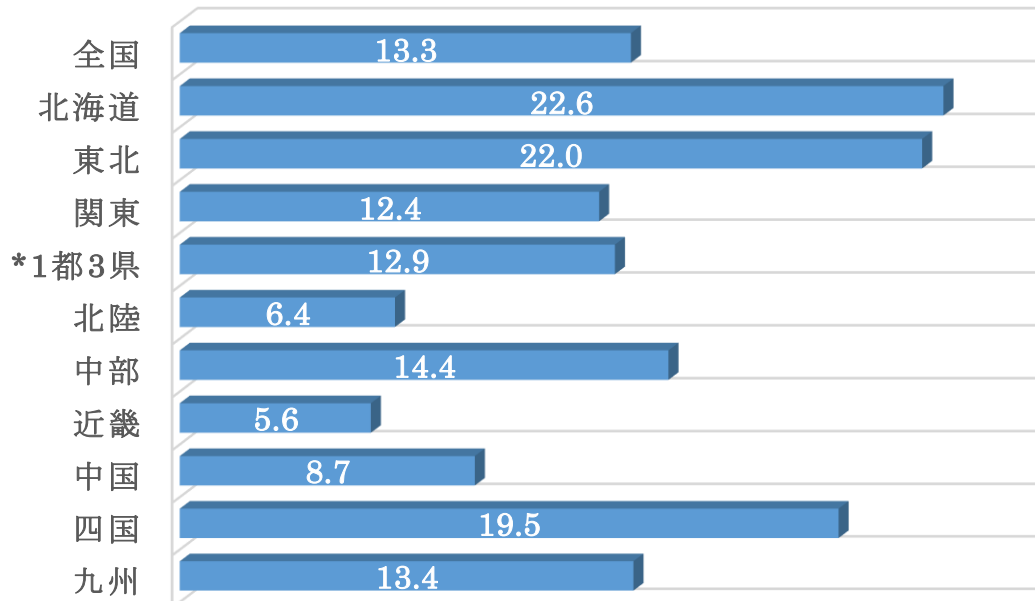
伝統的な和型お墓地域比較



シンプルな洋型お墓地域比較

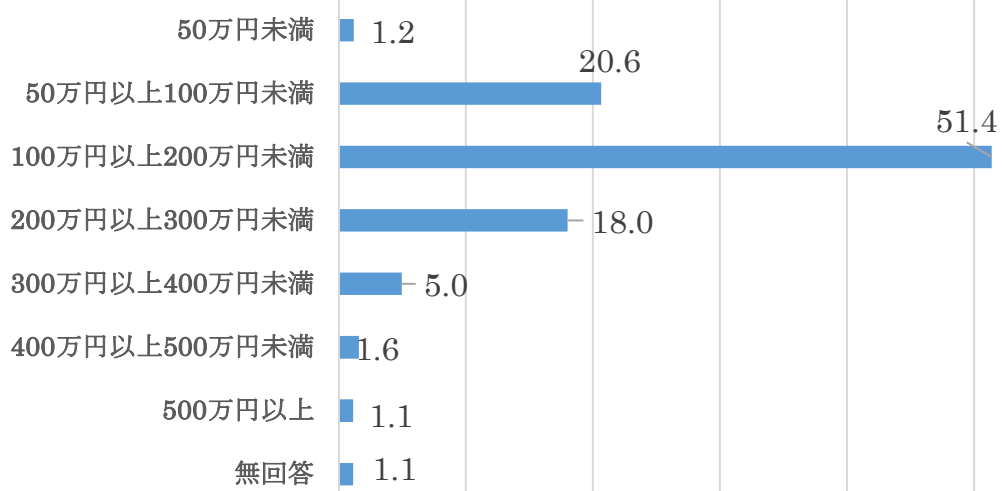


デザインのお墓地域比較



**墓の全国平均価格、昨年より 5.8 万円高い 170.4 万円
一都三県は全国平均よりも 14.65 万円高の 185 万円**

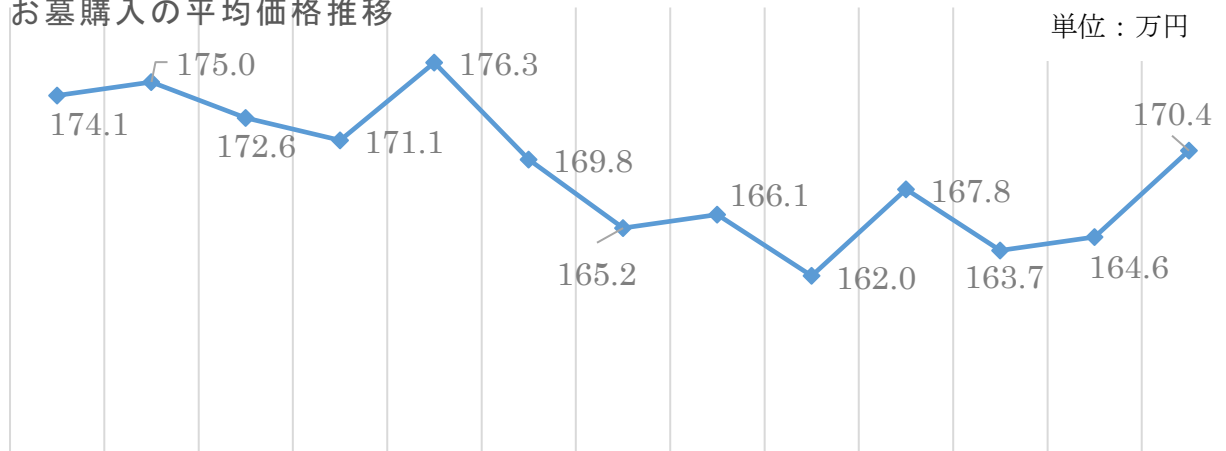
2016年お墓購入価格（全国）



墓地取得費用を除いた墓石の購入金額では、100万円～200万円台が最も多く51.4%と半数あまりを占める。次いで、50万円～100万円が20.6%、200万円～300万円が18.0%であった。

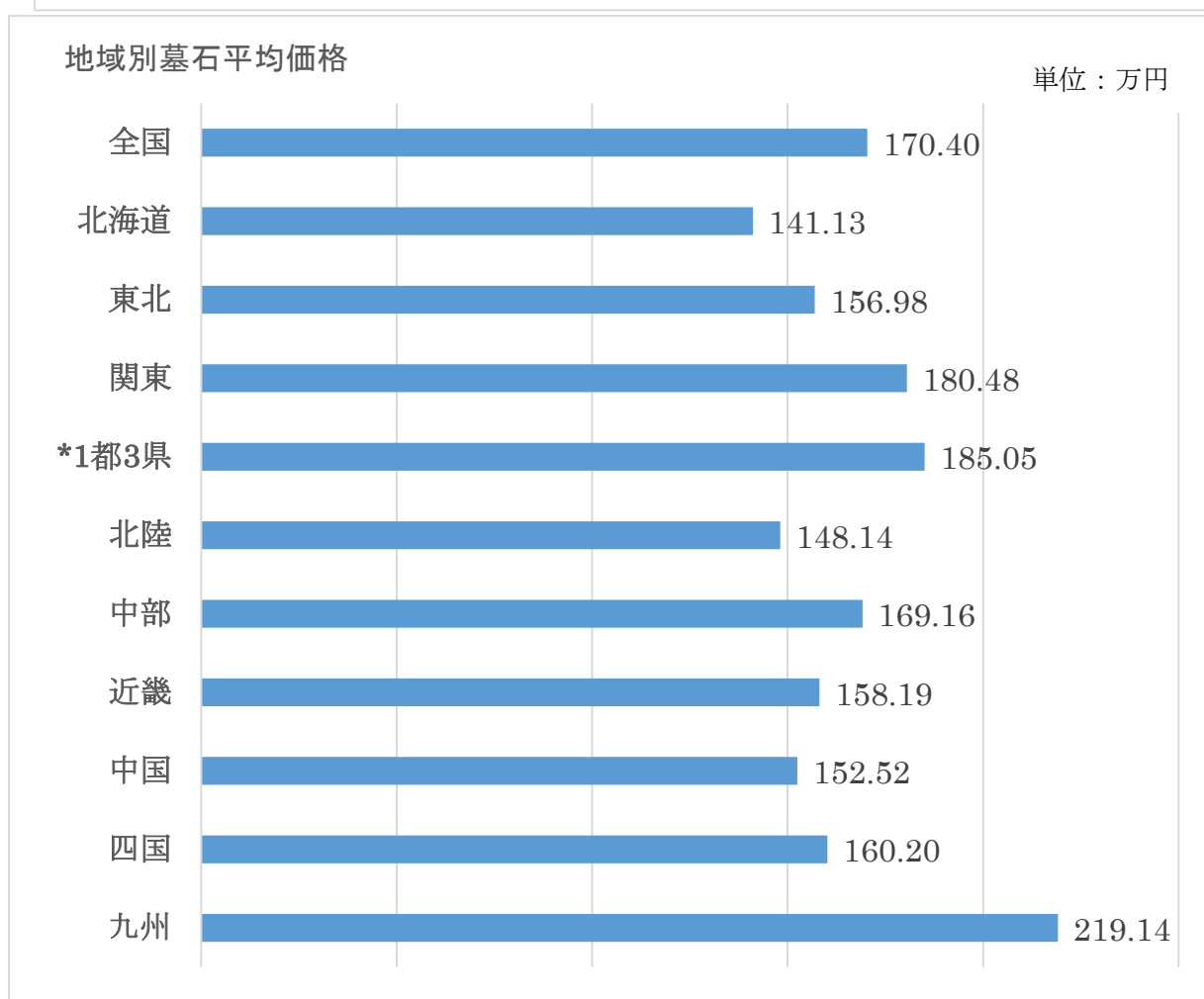
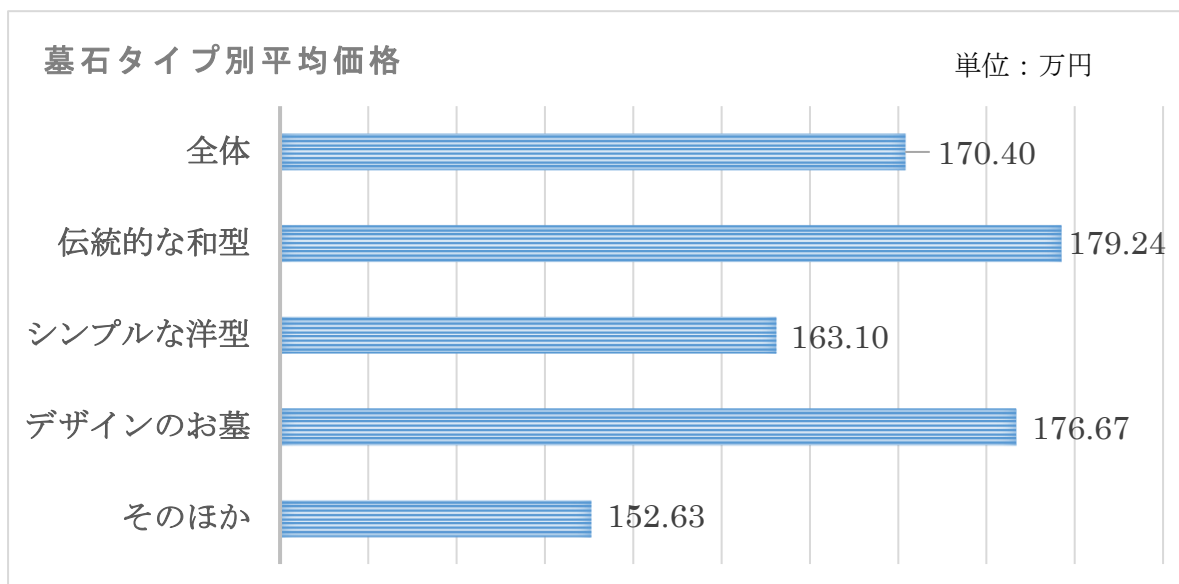
次にお墓の平均購入価格を計算してみると、全国平均で170.4万円。昨年の164.6万円よりも5.8万円のアップとなった。2008年以来の170万円台の回復となった。

お墓購入の平均価格推移



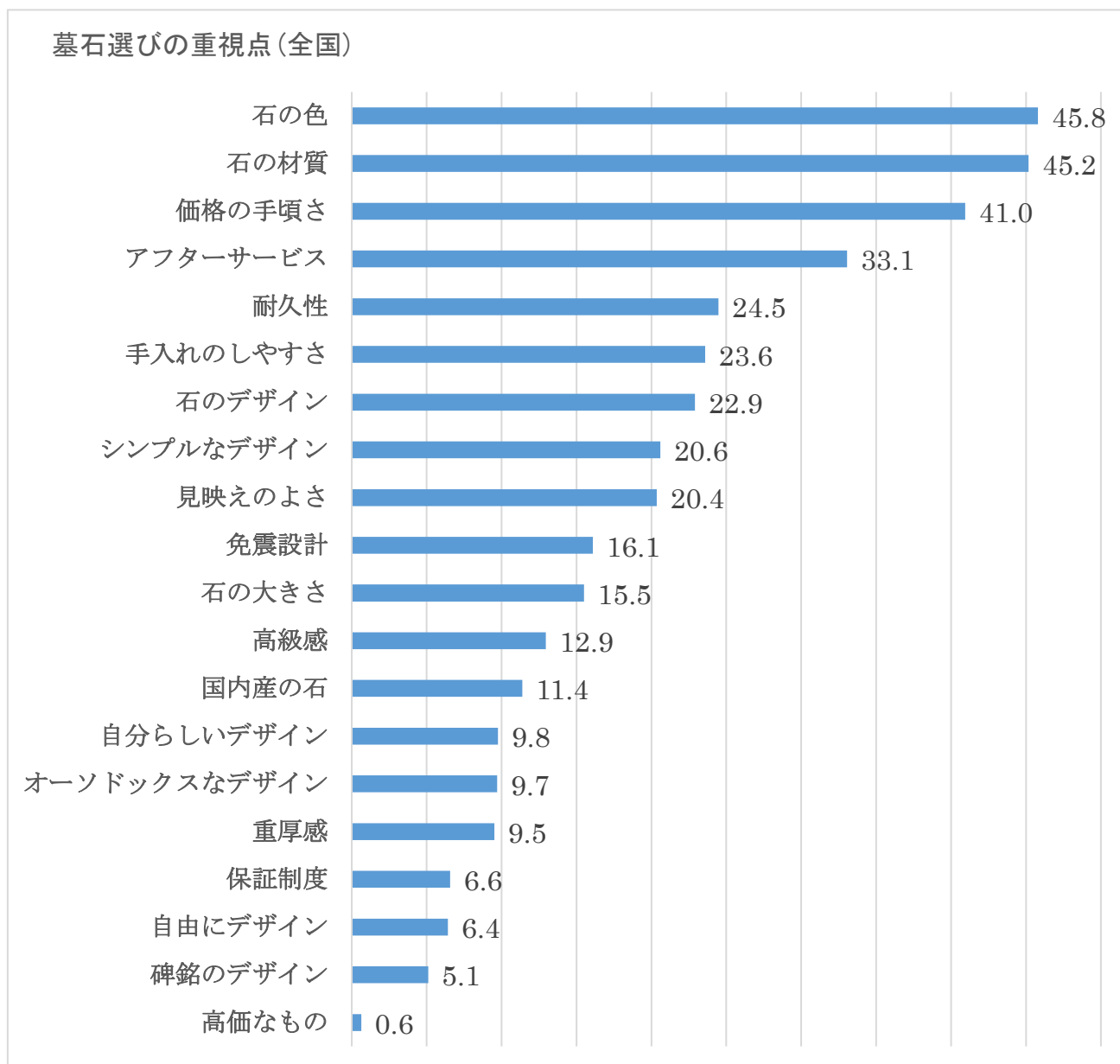
2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年

墓石タイプ別では、伝統的な和型の平均単価が最も高く 179.24 万円、次いでデザインのお墓で 176.67 万円、シンプルな洋型が最も安く 163.10 万円であった。



地域別にみても、最も高いのは九州の 219.14 万円、次いで一都三県で 185.05 万円、関東の 180.48 万円、安いのは北海道の 141.13 万円、北陸の 148.14 万円であった。最も高い九州と最も安い北海道では 78.01 万円の開きがある。また一都三県は全国平均よりも 14.65 万円高い。

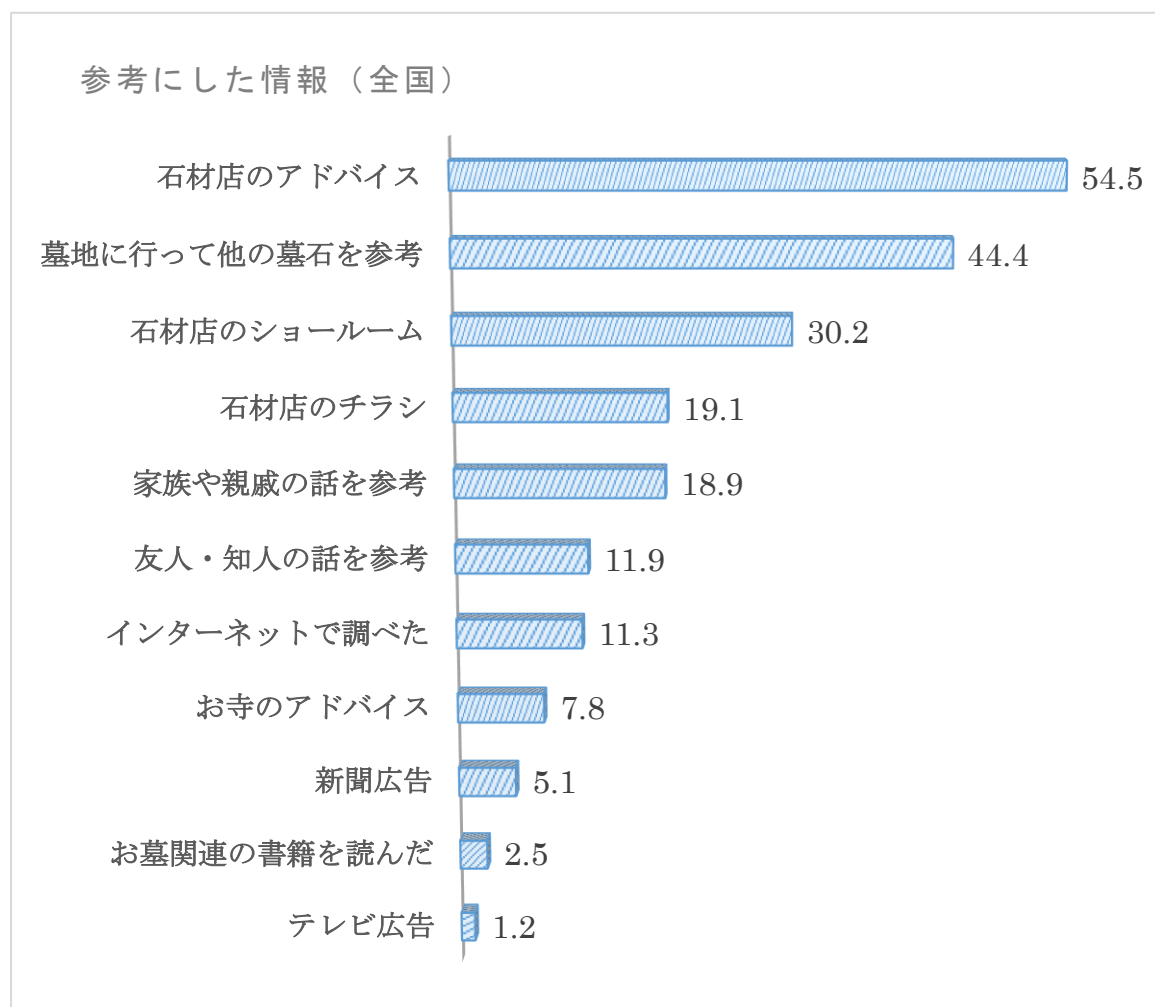
墓石選びで重視①石の色、②石の材質、石そのものに対するこだわりが強い



墓石選びで重視したことは複数回答に対して、①石の色、②石の材質と石そのものに対するこだわりが強いことがわかった。続いて③価格の手頃さ、④アフターサービス、⑤耐久性があげられた。

「石のデザイン」、「シンプルなデザイン」、「自分らしいデザイン」、「オーソドックスなデザイン」、「自由にデザイン」、「碑銘のデザイン」など、デザイン要素を合計すると 74.5% になる。

お墓購入で参考にした情報トップは「石材店のアドバイス」が半数強
「墓地に行って他の墓石を参考にした」は半数弱

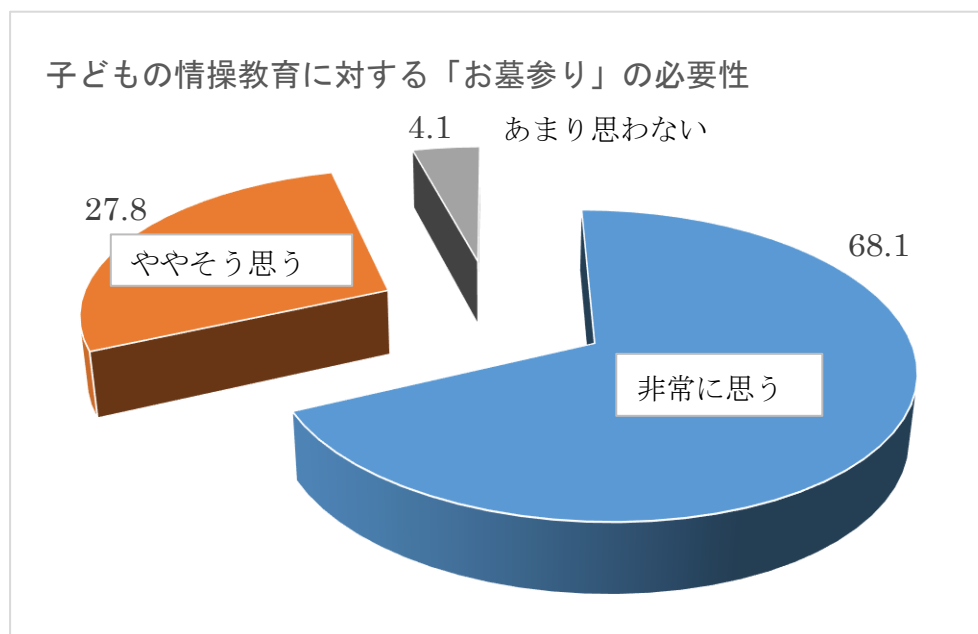


「墓石を購入する際に参考にした情報は」の複数回答に対し、圧倒的に多かったのは「石材店のアドバイス」があげられた。一生に一度あるかないかのお墓づくりでは、やはり実績のある専門業者、石材店が最も頼りになる情報源となっている。次いで「墓地に行って他の墓石を参考にした」があげられた。わが目で見学、確認し、お墓づくりのイメージを膨らませているようだ。調査を開始した 2014 年では 36.3%であったが 8.1%多くなっている。3 番目に「石材店のショールーム」があげられ、トップの「石材店のアドバイス」、4 番目の「石材店のチラシ」と合わせて、石材店の影響力が大きいことがわかる。2014 年と比較すれば、当時 2.7%であったインターネットが大幅に増え 11.3%と増えている。

子どもの情操教育に「お墓参り」は必要が 95.9%

墓参りは子供の情操教育の絶好の場と言われる。お墓参りを通じて、私たちの命は先祖から続いていることを学び、先祖を思う家族の姿を見て、自分も両親を大事にしていこう、人間として誇れる生き方をしようと心に誓う。お墓建立に関する実態だけでなく、お墓参りの意義についての意識を探ってみた。質問は「子どもの情操教育に対する「お墓参り」の必要性をどう思いますか？」と聞いてみた。

回答結果は、さすがこれからお墓を建てようという人たちである。「必要性を非常に思う」が 68.1%、「ややそう思う」が 27.8%と実に 95.9%の人が子供の情操教育に対するお墓参りの必要性、良さを感じていることが分かった。



調査対象者のプロフィール（有効回答サンプルは 2039 名）

